

前文について

- 「いなせ」について
 - ・「いなせ」の表現に問題はないのか？
(いなせ = 若い男性がいきで、勇み肌な様子、勇み肌 = 男気が有って、威勢がいい気風 三省堂 新明解国語辞典より)
(いなせ = いきで、いさみはだの若者、勇み肌 = おとこだでの気風。任侠の風 岩波書店 広辞苑 第四版より)
- 「江戸の下町文化」について
 - ・「町人文化」のほうが台東区を表現しているのではないか？
 - ・台東区のかなりの部分が武家屋敷であったことを考えると「町人文化」もおかしくないか？
- 「生活習慣」について
 - ・「暮らしぶり」のほうが表現として良くないか？
- 「上野の公園」について
 - ・「杜」は芸術なども含まれる表現だと思う。
 - ・公園では一般的な公園のイメージにとどまってしまう、世界的な文化拠点である上野のイメージとは異なる。
- 「浅草のお祭りについて」
 - ・浅草についてはお祭り以外の表現方法はないか？ (お祭りは浅草だけではない。)
 - ・「お祭」と表記したほうが地元にはなじみがある。

本文について

- 本文のひらがな・漢字表記について
 - ・ひらがなバージョンに対しては否定的な意見が多かった。
- 第1の柱立てについて
 - ・「こころ」が入っているが、第2の柱立てにも「心」が入っている。これはどちらか一方にのみ使ったほうが良くないか？
 - ・「たからもの」はひらがなのほうが良い。漢字だと品物を連想してしまう。
 - ・「昔ながらのたからもの」は表現としておかしくないか？
- 第2の柱立てについて
 - ・「にぎわうまち」より「にぎわいのまち」のほうが表現として良くないか？
 - ・「いきいき」という言葉を盛り込めないか？
 - ・「えがお」は漢字のほうがニコニコした顔が直感的に浮かんでくる。
- 第3の柱立てについて
 - ・「おたがいに」のあとに「ささえあい」とあり重複感がある。「おたがいに」は必要か？
- 第4の柱立てについて
 - ・「みどり」は漢字で緑としたほうが花と緑で対になって良い。
- 第5の柱立てについて
 - ・「きずな」の取捨について意見があったが、提案者は了承。